

# 第16回人権ショートストーリー入賞作品

(小・中学生の部)

## 最優秀賞

「せきをかわってよかったな」

バスの中で、おかあさんが「うしろにうつろう」と言いました。白いつえをもった人がお金をはらって、わたしがすわっていたせきにすわりました。せきをかわっておいてよかったです。これからはわたしも気づきたいです

## 優秀賞

「大丈夫いつも私がそばにいるよ」

いつも1人のキミ。私はちかづくことができなかった。それはその子がイジメられていたから。私もイジメられてもいい。だからその子の所へいった、そして、大丈夫いつも私がそばにいるよ。といった。

## 優秀賞

「助け合う気持ち」

みんながみんないっしょじゃない。人によって、できることとできないこともある。だから、みんな同じ空の下でたがいに助け合ってやさしい心の輪を作ろうよ。作ったらみんな笑顔でやさしい気持ち。

## 優秀賞

「笑うって…」

あのね、人が笑っているのを見て思ったことがある。笑うってみんなが楽しい気持ちになる笑いばかりじゃなく、相手をいやな気持ちにさせる笑いがあるよ。私はみんなが楽しい気持ちになる笑いができたらいいな。

## 佳作

「私の中私」

あの日、どうして助けなかったのだろうか。目の前で暴言をはかれ、けられているのに、自分もまきこまれたくないから？自分も同じことをその子にされていたから？そんなことを考えたから助けなかった。情けない私。

## 佳作

「手伝えなくてごめんね」

郡山駅のエスカレーターで車いすの人をよく見ます。手伝ってあげようかなと思うけれど、エスカレーターは、はばもせまいし大人の人は大きいので、小学二年生のぼくではちょっと無理だと思います。ごめんね。

## 佳作

「生き方」

この世界にはいろいろな人がいる。目が見えない人。耳が聞こえない人。それでもひっしに見ようとしてる。聞こうとしてる。毎日をひっしに生きてる。笑わないで。ちゃんとみんなと同じように生きてるから。

## 佳作

「勇気を出し自分の気持ちを話す大切さ」

幼稚園の頃、走る順番決めで泣いていた。先生は「黙らずに！」と言った。勇気を出して話すと友達は、笑顔で代わってくれた。優しさに恥ずかしくなった。でも、正直に話して晴れやかな気持ちになったことを忘れない。

## 佳作

「広島と長崎のみなさん」

広島と長崎で鳴らされた平和の鐘をきいて原爆のことはよく分からないけど、平和が大切だと分かりました。六年生になったら広島に修学旅行に行きます。原爆のことをしっかり勉強してきます。

## ( 高校・一般の部 )

### 最 優 秀 賞

「地域で育て、見守ろう」

「子どものすること」けんか?いじめ?見逃さないで、見届けよう。見送らずに、なるべくその場で気持ちを伝え合おう。「よその子だから見ないふり」より「そこにいる大人」として、問いかけよう。「どうしたの」で。

### 優 秀 賞

「識字学級 初めての教室」

教室の前で胸がドキドキドアを開けると先生二人と生徒三人で手招きと笑顔いっぱい迎えて下さいました感謝してますあれからもう五年すぎましたあの時の嬉しかったことは一生忘れません毎月の識字学習が楽しみです

### 優 秀 賞

「自閉症の私へ」

どんな私だって私は大好き。虐められたって、保健室登校になったって、セクシャルマイノリティーだって、人間関係がうまくいかなかったって、それでも永遠に私は私の味方。大好きだよ。

### 優 秀 賞

「同じ境遇の君へ」

寝たきりの僕。就職できず、友人も離れていく。兄ちゃんが在宅のネットビジネスを教えてくれた。初めての収入を得た時。家族みんな涙して喜んでくれた。君だって働ける！体は動かさずとも、心は動いているのだから。

## 佳作

「知ってほしい」

私は誤解を避けるために自分の障害名をあえて言う。でも本当はわざわざ言わなくても済むような社会にしていきたい。こういう個性や特性があると、当たり前前に受け入れてくれるなら、私は障害者ではなくなる。

## 佳作

「つらい時はつらいと誰かに伝える大切さ。」

私は小さい頃お母さんと離れて施設で暮らしていた。お母さんに甘えたくても甘えれなくて毎晩泣いていた私を施設の人はいつも抱きしめてくれた。私は一人じゃないんだなと思い、つらい気持ちが楽になった気がしました

## 佳作

「差別って何ですか。」

私がこの地区を選んで生まれてきたんじゃない。差別は自然になくなるものじゃない。差別はなくすものである。私はそう思います。1人1人に大切な命。それでも差別が必要ですか。

## 佳作

「無自覚」

英語の授業の、自己紹介の時間に「アィム、コリアン」って君が、何でもない顔で言ったから、私はビックリした。それで気づいた。私の中に外国人への差別の気持ちがあったことに。自覚がないって恐ろしい。

## 佳作

「嬉しかった言葉」

障害のある私を認めてくれた。発達障害が個性だと言ってくれた。それこそが魅力だと言ってくれた。正直に話してくれてありがとうと言ってくれた。ずっとコンプレックスだったものが長所が変わった。